

2023年4月23日 LINEメッセージ 日本キリスト兄弟団 新下関教会

<http://olive.lovepop.jp/LINEsound/2023/20230423.mp3>

廣川和行牧師 ヨハネの福音書 13章 36節～14章 7節

「主よ、どこにおいでになるのですか」

8分 38秒

13:36 シモン・ペテロがイエスに言った。「主よ、どこにおいでになるのですか。」イエスは答えられた。「わたしが行くところに、あなたは今ついて来ることができません。しかし後にはついて来ます。」

13:37 ペテロはイエスに言った。「主よ、なぜ今ついて行けないのですか。あなたのためなら、いのちも捨てます。」

13:38 イエスは答えられた。「わたしのためにいのちも捨てるのですか。まことに、まことに、あなたに言います。鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」

14:1 「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」

14:2 わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

14:3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。

14:4 わたしがどこに行くのか、その道をあなたがたは知っています。」

14:5 トマスはイエスに言った。「主よ、どこへ行かれるのか、私たちに分かりません。どうしたら、その道を知ることができるでしょうか。」

14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」

14:7 あなたがたがわたしを知っているなら、わたしの父をも知るようになります。今から父を知るのです。いや、すでにあなたがたは父を見たのです。」

おはようございます。

新緑の美しい季節となりました。

先週は初夏のような暑い日が続きました。

体調を崩しやすい気候です。

皆様の健康が守られますようにお祈りいたします。

さて今日のヨハネの福音書 13章 36節から 14章 7節では、先週に引き続き、

イエス様が十字架にかかる前夜の最後の晩餐の席で、イエス様が弟子たちに教えられたことが書かれています。

イエス様が

「わたしが行くところに、あなたがたは来ることができません。」

と語られた言葉が気になったシモン・ペテロは驚いて、

「主よ、どこにおいでになるのですか。」と聞きました。

イエス様は

「わたしが行くところに、あなたは今ついて来ることができません。しかし後にはついて来ます。」

と答えました。イエス様の答えに対して、

「主よ、なぜ今ついて行けないのですか。あなたのためなら、いのちも捨てます。」

と、熱血感のペテロらしく食い下がります。

するとイエス様は「わたしのためにいのちも捨てるのですか。」

まことに、まことに、あなたに言います。鶏が鳴くまでに、

あなたは三度わたしを知らないと言います。」と答えました。

イエス様のためなら命さえ捨てますと言い切ったペテロに対して、

明日の夜明けまでに三度、イエスなど全く知らないと言っていると

イエス様は預言されたのです。

イエス様のためなら命さえ惜しくないという

ペテロの熱心な気持ちから出た決心の言葉が、

いかにその場限りのものであったかがすぐに明らかになります。  
次に弟子たちに向かって、  
**「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」**と命じました。  
これからイエス様が行くところ、死んで復活されるのは、  
弟子たちのために天の父なる神様のところに居場所を備えるためです。  
居場所を備えたならまた来て、あなた方を迎えます。  
イエス様のいるところに弟子たちもいるためですと約束されました。  
そしてイエス様は、  
**「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」**と語られました。  
天の父なる神様のところへ行く道は、  
イエス様を通して神の真理を知り、  
イエス様が与えて下さる命にあずかることにあります。  
イエス様は人となって歩まれた生涯を通して、  
特に十字架の死によって、すべての人の罪を贖い、  
私たちが天の神様を知り、  
永遠の命にあずかる道を備えてくださいました。  
ですからイエス様ご自身は神様に至る道なのです。  
また真理そのものなのです。  
永遠の命を与えてくださるいのちを持つお方なのです。  
**「人がイエス様を知ることは、天の父なる神様を知ることになるのです。」**  
とイエス様は弟子たちに語りました。  
このことは私たちにとっても大切な真理であり、  
私たちの信仰はそこに立っているのです。  
この後イエス様を殺そうとしているユダヤ人指導者たちの手に  
イエス様が捕らえられると、  
イエス様の告げられた通りに、ペテロは私はイエスなど知らないと言い、  
最初に信仰を捨てた人となってしまいます。

また他の弟子たちもイエス様を見捨てて逃げてしまい、  
弟子集団は崩壊します。  
けれどもイエス様はこの後に起こる出来事に、  
弟子たちが恐れおののいて、散り散りになって逃げることも  
見通しておられ、  
あなた方は心を騒がせてはなりません。  
神を信じ私を信じなさいと語られたのです。

私たちは時々いろいろな困難な出来事に出会い、  
思いわずらったり思い悩んだりします。  
とりわけ、解決が難しいことが起こると、  
私たちの心はそのことに占領されてしまい、  
どうしてそのようになったのかと原因を分析したり、  
事態を解決するにはどうしようかと考えたり、  
乗り越えるための方策だけに焦点が行きがちです。  
しかしイエス様はそのような混乱の中で右往左往する私たちの姿も  
ご存じであり、よくわかっていてくださるのです。  
道であり真理でありいのちであるイエス様です。  
私たちはそのようなイエス様と出会い、歩んでいるのです。  
私たちが困難な課題に直面した時は、  
イエス様にもっと依り頼むように主が備えられた時であると受け止めて、  
そのことに感謝をしましょう。  
とても感謝できないと思われている方もいるでしょう。  
けれども、すべてに感謝していくとき、そこに祝福があるのです。  
そして、静まって、すべてをご存じのイエス様に祈る時を持ちましょう。

**詩篇 32 篇 8 節**においてこのように約束されています。  
**「私はあなたが行く道であなただけを教えあなたを諭そう。  
あなたに目を留め助言を与えよう。」**

イエス様に困難な状況に直面して悩んでいることを正直に伝え、  
助けてくださいと求めるのです。  
道であり真理であり命であるイエス様は  
愛する私たちを最善の道へと必ず導いてくださいます。  
一人で課題を抱え込まないで、主にある友と分かち合い、  
共におられるイエス様に頼って、  
私たちの弱さの中に現れてくださる神様に感謝して歩みましょう。  
今週の皆様の歩みが守られ、祝福されますようにお祈りをいたします。

お祈りいたします。  
天の父なる神様、  
私たちを愛し、慈しんでくださっているあなたの御名を褒め称えます。  
先週一週間の守りを心から感謝いたします。  
道であり真理であり命であるイエス様に信頼して  
共に歩んでいきたいと願っています。  
今週の兄弟姉妹の歩みを守り導き、助けてください。  
病を得ている方々を癒し、健やかにしてください。  
課題に直面している方を励まし、支えてください。  
主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊との親しき交わりが、  
会衆一人一人の上に、今も後もとこしえまでも力強くあらんことを。  
アーメン。

